

# 平成18年度 きのくに技能奨励賞

に ぎ よし ひさ  
仁 儀 吉 寿

住 所：和歌山県和歌山市  
出 身 地：和歌山県和歌山市  
生 年：昭和36年

■現在  
競技用ソリ製作(スケルトン)

## ◎業績及び経歴

昭和36年和歌山市に生まれ、同市内で金属を加工する工場を経営している。鉄に関するものづくりの『プロ』であり、平成14年に開催されたソルトレークシティ五輪で正式種目として半世紀ぶりに復活し、注目を集めた「スケルトン」競技のソリを製作する日本でただ一人の『職人』である。

平成12年、日本スケルトン界の第一人者である越和宏選手の依頼を受け、職人の技術とこだわりをもって、同選手がかつて使用していたオーストリア製のソリを分解し、パーツ毎に構造を研究し、改良をすすめる。レース条件により微調整可能な「分解組立式ソリ」を製作した。越選手は、仁儀氏が製作するソリを使用し、平成13年ワールドカップ長野大会で優勝、平成14年ソルトレークシティ五輪では8位入賞を果たすなど素晴らしい成績を上げた。バブル崩壊後、大手企業のスポーツ用具製造事業が縮小される中、選手の様々な要求に即座に対応できる中小企業のメリットを生かし技術力を提供するなど選手を支える大きな力となっている。

製作するソリは海外からも注目されており、国内外の選手たちの夢を和歌山からサポートするため、日々研鑽し技術力に磨きをかけている。